

■久保栄 劇作家、演出家。戦時下リアリズム演劇確立する名作生むも検挙され、〈敗戦〉後、神経衰弱高じて自殺。

くぼさかえ

ピノ/国産化・1900＝ 北海道札幌で生まれる。

日比谷公園・1903＝ 3歳：叔父の養子となり、上京。

日露戦争終・1905＝ 5歳：

満鉄発足・・1906＝ 6歳：養父母の離婚問題で札幌に戻り、

伊藤博文暗殺1909＝ 9歳：

韓国併合・・1910＝10歳：養父が再婚して以後、

明治天皇没・1912＝12歳：

東京で芝居好きな新しい養母のもとで育つが、

21ヶ条要求・1915＝15歳：養父が事業に失敗して実家に復籍するという複雑な幼年・少年時代を過ごした後、

本格政党内閣1918＝18歳：\_第一高等学校入学前に書いた小説が評価されて{中央文学}に掲載され、

原敬首相暗殺1921＝21歳：

\_東京帝国大学独文科時代から小山内薫に師事、翻訳した「ホウゼ」が{築地小劇場}で上演され、

円本時代始・1926＝26歳：\_卒業とともに、築地小劇場に入り、自然主義、表現主義戯曲の翻訳に従事する。

金融恐慌・・1927＝27歳：

共産党事件・1928＝28歳：\_小山内の死去後、土方与志らと行動を共にして{新築地劇団}に参加するも直に退団し、

海軍軍縮条約1930＝30歳：

満州事変・・1931＝31歳：\_処女作「国姓爺新説」を発表。{日本プロレタリア演劇同盟}に参加、機関誌編集や創作演出に当り、

国際連盟脱退1933＝33歳：

帝人疑獄事件1934＝34歳：

\*{日本プロレタリア演劇同盟}が解散せざるを得なくなり、大同団結で結成された新協劇団の旗揚げ公演「夜明け前」(島崎藤村原作)演出で、リアリズム演劇を確立、

二二六事件・1936＝36歳：

日中戦争始・1937＝37歳：\_\*名作「火山灰地」に、その社会主義リアリズム理論を具現した。

第二次大戦始1939＝39歳：評論集「新劇の書」を生んだが、

大政翼賛会・1940＝40歳：\_\*新劇事件で検挙され、

日米開戦・・1941＝41歳：出所後も公的活動を遠ざかって、小山内薫の評伝を書いて過ごし、

敗戦・・・1945＝45歳：

\_〈敗戦〉後、{東宝}傘下で滝沢修らと{東京芸術劇場}とその附属研究所を興し、後進を指導しながら、

新憲法施行・1947＝47歳：

\*戯曲「林檎園日記」で、戯曲創作を再開したが、意見が合わずに解散、

\_以後、躁鬱病に冒されて病と闘いながら、科学的概括と詩的形象の一元化という至難の道を目ざすが、

独立回復・・1951＝51歳：長編roman「のぼり窯」を出版、

TV放送始・・1953＝53歳：「日本の気象」を上演などするうち、

自衛隊発足・1954＝54歳：

\_神経衰弱が高じ、

インストラマン・1958＝58歳：\_入院中、自殺した。